

授業科目	異文化間コミュニケーションⅡ				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21206J		
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	横溝 紳一郎							
授業概要	日本語は、日本人にとっては空気のような存在である。しかし、外国人の眼を通してみると、違ったものに見えることが少なくない。外国人の視点から日本語を捉え直すことで、日本人・日本文化・日本社会について考えていく。							
学生が達成すべき行動目標	1. 日本語を通して、日本人・日本文化・日本社会を理解することができる。 2. 身の回りにある日本語に興味を持ち、その使い方や意味を探ることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	55	0	0	45	100	
知識・理解 (DP1-1)			55				55	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						30	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)						15	15	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本人・日本文化・日本社会について学んだことを、自分のことばで他の人に分かりやすく説明できる。				1. 日本語を通して、日本人・日本文化・日本社会を理解することができる。 2. 身の回りにある日本語に興味を持ち、その使い方や意味を探ることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション 授業の概要を説明し、履修方法や授業の目的、達成目安、評価の内容と方法を理解する。	講義	復習：該当部分の復習	30
2	思いやりの日本語 1 思いやりを表す日本語(お互いさま／お疲れさま／ご苦労様など)について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
3	思いやりの日本語 2 思いやりを表す日本語(おあいそ／どうも／ちょっと等)について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
4	異文化間コミュニケーションについて考える 1 「教育を受ける権利と、その意味」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
5	感謝と謙譲の日本語 感謝と謙譲の気持ちを表す日本語について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
6	繊細な日本語 1 日本人の繊細さを表す日本語について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
7	繊細な日本語 2 日本人の繊細さを表す日本語について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
8	異文化間コミュニケーションについて考える 2 「差別が起きるメカニズム」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
9	異文化間コミュニケーションについて考える 3 「ことばの力」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
10	外国人泣かせの日本語 1 外国人にとって難しい日本語について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
11	外国人泣かせの日本語 2 外国人にとって難しい日本語について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ	講義	復習：該当部分の復習	30
12	異文化間コミュニケーションについて考える 4 「教育、仕事、家庭」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
13	異文化間コミュニケーションについて考える 5 「教育、仕事、家庭」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
14	外国人泣かせの日本語 3 外国人にとって難しい日本語について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
15	まとめ この授業のまとめを行う。	講義	復習：該当部分の復習	30
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	積極的な参加が必要不可欠です。			
テキスト	『優しい日本語－英語にできない「おかげさま」のころー』清ルミ(太陽出版)(2007)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に指示します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	1. 出席と積極的な参加を重視します。(授業中の私語・スマホ使用は厳禁！) 2. 欠席1回につき、「出席を含む授業態度」が3パーセントずつ減点されます。正当な理由があり欠席・遅刻・早退する／した場合は、必ず届け出ておくこと。 3. アンテナを高く張って、身の回りにある日本語を意識してみましょう。きっといろんな発見があると思います。			
達成度評価に関するコメント	期末レポート(55%)、毎回の授業の最後に提出するふり返しシート(45%)により評価します。			